

総務常任委員会報告書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和2年8月27日(木) 午前9時 ～ 午後3時			
会 議 場 所	○議員控室 ○委員会室 ○議会図書室 ☒ その他(津野町・須崎市)			
出 席 者 数	委員6名のうち出席者6名			
出 席 委 員	委 員 長	古 谷 幹 夫	委 員	田 邊 哲 夫
	副委員長	水 間 淳 一	委 員	堀 本 伸 一
	委 員	吉 村 アツ子	委 員	下 元 昇
出 席 者	四万十川振興室	室長 中井智之		
事 務 局	事務局長	長谷部 卓也		
説 明 者	津野町	企画調整課	須崎市	プロジェクト推進室
付 議 事 件	① 津野町：風力発電事業導入の経過と導入後の状況について			
	② 須崎市：自治体新電力の取り組みと今後の事業展開について			
審 査 ・ 調 査	① 風力発電事業導入の経過と導入後の状況について、説明を受ける。			
	○葉山風力発電所は今から10年以上前に行政が積極的に企業に積極的に協力することで設置してきた経過があり、景観的にクリーンなイメージとして津野町のシンボルに位置づけ、町においてはプラスイメージとなっていると評価している。			
	② 自治体新電力の取り組みと今後の事業展開について、説明を受ける。			
	○エネルギーの地産地消や災害時の電力供給の担い手として、自治体新電力会社に対する関心の高まりがあり、2020年3月の時点で自治体が出資する自治体新電力会社の数は50を超える勢いにあるというが、その中で県下でいち早く自治体新電力会社を立ち上げた須崎市、日高村のエネルギー・経済の循環による地域活性化に軸足を置いた取り組みは参考にすべき事例と受け止めると同時に今後の動向を注視していきたい。			
	○電力市場の現状、特に電力卸取引所(JEPX)なるものの存在と、契約電力先が変わっても実際に使用する電気は既存の電力会社の送電線を流れている電気を使用することには変わりがないこと。			
	○既存電力会社の抵抗等が想定され、進展はゆっくりであっても少しずつ電気市場の自由化が進んでいることの事例に身近で触れることができた。			
反 対 意 見				
報 告 日	令和2年9月2日(水)		委 員 長 署 名	古 谷 幹 夫 